

(平成 30 年 6 月試験研究業務月報)

試験研究課題：強樹勢台木の接ぎ木による賀茂ナス果実の高品質・高付加価値化技術の確立

研 究

賀茂ナスの台木の吸水力評価

賀茂ナスでは、土壌病害を防ぐために接ぎ木※栽培が行われています。しかし、一般的に使われる台木品種は夏期の高温耐性が弱いため、7～8 月頃に最高気温が 35℃を超えるようになると、根で吸収された水分が果実へ供給されにくくなり、艶のない果実が発生し、品質が低下します。

そこで当センターでは、病害に強く、品質が低下しにくい賀茂ナスの栽培を目指し、7 品種の台木を用いた接ぎ木栽培を行っています。

今回は、各台木の根からの吸水力を評価するために、栽培中の株の茎葉を切り取り、切り株から染み出す水分量を測定した結果、吸水力が強い品種が明らかになりました。今後は、収量や果実品質との関連を調査し、最適な台木を選定します。

※接ぎ木：ナスでは、青枯病、半枯病、半身萎凋病など土壌伝染性の病害対策として、これらの病害に強い台木を利用して接ぎ木栽培を行います。



(左) 根からの吸水力の評価試験の様子
茎葉を切り取り、切り株に
チューブを取り付け株から
染み出す水分量を測定



(右) 栽培中の賀茂ナス (6 月 25 日撮影)
6 月 18 日収穫開始
草丈は約 75cm